

令和2年度はコロナウイルスの影響にて、全講座中止

目次

CONTENTS

I. ご挨拶	1
II. 令和2(2020)年度公開講座一覧	2
III. 令和2(2020)年度公開講座実施期間一覧	4
IV. 受講手続き等について	8
V. 令和2(2020)年度公開講座の詳細	10
VI. 宇都宮大学までの交通	39
VII. 宇都宮大学構内建物配置図	40

令和2(2020)年度宇都宮大学公開講座受講申込書
(切り取ってお使いください)

令和2(2020)年度カレンダー

ご挨拶

多種多様かつユニークで身近なテーマを揃えた宇都宮大学公開講座は、おかげさまで地域の多くの皆様にご愛顧いただいております。組織の面では、一昨年度より（旧）地域連携教育研究センターから宇大アカデミー・生涯学習研究開発室へと装いを改めました。地域人材の育成機能を担う宇大アカデミーの下、正課授業の開放により継続的・発展的な生涯学習機会を提供するUUカレッジとも連携して、ユニバーサル・アクセス時代、人生100年の時代の大学として、地域の市民や企業人の皆様に本学の教育的資源を活用することにより、学びなおし学び続けていただくための仕組み作りや環境の整備・拡充に鋭意取り組んでいます。

宇大アカデミーは、地域シンクタンク機能を担う地域デザインセンター、地域イノベーション創出を担う産学イノベーション支援センターとともに宇都宮大学地域創生推進機構を構成し、教育・研究における地域連携の一層の強化と地域創生機能の拡充をはかっているところです。

その一翼として位置づけられている本講座は、生涯学習の機会であるとともに、本学の教育・研究の一端に触れていただける機会でもあります。ここを入り口として、本学の教育・研究に対する興味・関心を高め、より主体的な学び、継続的・体系的な学びへと発展させるきっかけとしても活用していただければ幸いです。

令和2（2020）年3月

宇都宮大学地域創生推進機構

宇大アカデミーディレクター 天沼 実

Ⅱ 令和2(2020)年度公開講座一覧

	No.	公開講座名	担当講師	ページ
無料特別講座	1	仲間づくりと居場所づくりの技法 2020 －「生きがい集」をつうじて 「生涯学習」の意義を味わう－	地域創生推進機構教授 佐々木英和	10
連携講座	2	とちぎ男女共同参画センター連携事業 男女共同参画セミナー	国立研究開発法人 科学技術振興機構 副理事・ダイバーシ ティ推進室長 渡辺美代子	11
国際理解	3	「健全」の研究 －わが身、わが国、わが世界の 健全を求めて－	元宇都宮大学客員教授 神長 善次	12
	4	ドイツ語とドイツ文化 －ドイツを知ろう－	名誉教授 橋本 孝	13
教養・文化	5	後悔しないための心理学の知恵 －人生で重要な意思決定に向けた アドバイス－	東京大学名誉教授 繁樹 算男 地域創生推進機構教授 佐々木英和	14
	6	書道 (初級, 中級, 上級, 専門)	地域デザイン科学部教授 中島 宗皓	15-18
	7	マジック・パズルを通して数学を 楽しむ	名誉教授 大関 清太	19
	8	日本のコメ作り －知っておいて損はない コメ作りに関する知識－	農学部附属農場准教授 高橋 行継	20
	9	声を鍛える (夏コース, 秋コース)	名誉教授 石野 健二	21-22
	10	コンピュータはSUDOKUパズル を解けるか? －視覚化して理解する「学び直し数学」－	名誉教授 佐藤 禎宏	23
	11	ライブコーディングミュージック & CGをやってみる! － Extempore/scheme で Live coding をやる、 音楽も映像もボカロも!－	名誉教授 東海林健二 他2名	24
	12	写真から描き起こすコンピュータ 絵画教室	名誉教授 東海林健二	25
	13	コンピュータビジョンプログラミ ング入門	名誉教授 東海林健二	26

	No.	公開講座名	担当講師	ページ
教養・文化	14	チューバの基礎を身につけよう －演奏方法に悩んでいるあなたへ－	教育学部准教授 高島 章悟	27
	15	指揮を学んでみませんか －ご自分で悩んでいるあなたへ－	教育学部准教授 高島 章悟	28
	16	安全・安心について考えよう 2020 －“身近な危険”、 その多さに気づいていますか？－	元宇都宮大学教授 松岡 猛 他3名	29
	17	戦争と文学、そしてジャーナリズム －20世紀以降の近代戦争と人間の本質－	名誉教授 市川裕見子 他3名	30
	18	日本の鉄道を知る －旅行にも役に立つ鉄道の知識を教えます－	農学部附属農場准教授 高橋 行継 他1名	31
地域コミュニケーション	19	民俗学からみた栃木 No.11 －栃木の石をめぐる民俗－	栃木くらし文化研究所 代表 柏村 祐司	32
	20	いのちをいただきます －食と農の視点で、 食卓から健康までを考える－	宇都宮大学認定食農ファシリテーター 和久井 隆 他1名	33
	21	終章を生きる －住み慣れた地域で安心して暮らそう－	地域創生推進機構 コーディネーター 廣瀬 隆人 他3名	34
	22	音楽を通じた地域づくり －ドラマサークルファシリテーションの基礎－	教育学部教授 長谷川万由美 他1名	35
	23	「話しあいファシリテーション」の 理論と実践 2020 －「聞きあい・聴きあい・訊きあい」の 実行・実現－	地域創生推進機構教授 佐々木英和	36
	24	参加体験型学習で学びあうリーダー論 2020 －「お互いの尊びあい」を促す リーダーシップ－	地域創生推進機構教授 佐々木英和 他3名	37
	25	2020年度地域コラムニスト養成講座	地域創生推進機構教授 佐々木英和 他4名	38

Ⅲ 令和2(2020)年度公開講座実施期間一覧

No.	講 座 名	定員	受講料	4 月			5 月		
				上	中	下	上	中	下
1	仲間づくりと居場所づくりの技法 2020 - 「生きがい楽集」をつうじて「生涯学習」の意義を味わう-	100	0						
2	とちぎ男女共同参画センター連携事業 男女共同参画セミナー	150	0						
3	「健全」の研究 - わが身、わが国、わが世界の健全を求めて-	30	5,500						
4	ドイツ語とドイツ文化 - ドイツを知ろう-	20	11,000						
5	後悔しないための心理学の知恵 - 人生で重要な意思決定に向けたアドヴァイス-	30	5,500						
6	①書道 初級コース	24	5,500						
	②書道 中級コース	24	5,500						
	③書道 上級コース	12	5,500						
	④書道 専門コース	12	5,500						
7	マジック・パズルを通して数学を楽しむ	15	11,000						
8	日本のコメ作り - 知っておいて損はないコメ作りに関する知識-	25	5,500						
9	①声を鍛える 夏コース - 声のしくみとトレーニング-	30	5,500						
	②声を鍛える 秋コース - 声のしくみとトレーニング-	30	5,500						
10	コンピュータはSUDOKUパズルを解けるか? - 視覚化して理解する「学び直し数学」-	10	8,250						
11	ライブコーディングミュージック&CG をやってみる! - Extempore/schemeでLive codingをやる、 音楽も映像もボカロも!-	15	5,500						

6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月								
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
■																																			
									6 / 6(土) 14:30 ~ 16:30 (全1回)																										
									■																										
									9 / 16(水) 13:00 ~ 15:00 (全1回)																										
									■																										
									9 / 11 ~ 10 / 9(金) 14:30 ~ 16:30 (全5回)																										
												■																							
												10 / 15 ~ 2 / 11(木) 13:30 ~ 15:30 (全10回)																							
■																																			
6 / 13 ~ 7 / 11(土) 14:30 ~ 16:30 (全5回)																																			
■																																			
6 / 4 ~ 10 / 8(木) 17:40 ~ 19:40 (全5回)																																			
												■																							
												10 / 22 ~ 12 / 17(木) 17:40 ~ 19:40 (全5回)																							
■																																			
6 / 11 ~ 10 / 15(木) 17:40 ~ 19:40 (全5回)																																			
															■																				
															10 / 29 ~ 1 / 7(木) 17:40 ~ 19:40 (全5回)																				
■																																			
6 / 10 ~ 12 / 2(水) 13:30 ~ 15:30 (全10回)																																			
■																																			
6 / 16 ~ 9 / 28(月他) 14:00 ~ 16:00 (全5回)																																			
■																																			
7 / 1 ~ 7 / 29(水) 13:30 ~ 15:30 (全5回)																																			
												■																							
												9 / 30 ~ 10 / 28(水) 13:30 ~ 15:30 (全5回)																							
■																																			
6 / 3 ~ 11 / 11(水) 12:40 ~ 14:10 (全10回)																																			
■																																			
6 / 7 ~ 7 / 5(日) 14:00 ~ 16:00 (全5回)																																			

No.	講 座 名	定員	受講料	4 月			5 月		
				上	中	下	上	中	下
12	写真から描き起こすコンピュータ絵画教室	10	5,500						
13	コンピュータビジョンプログラミング入門	10	5,500						
14	チューバの基礎を身につけよう －演奏方法に悩んでいるあなたへ－	12	5,500						
15	指揮を学んでみませんか －ご自分で悩んでいるあなたへ－	18	5,500						
16	安全・安心について考えよう 2020 －“身近な危険”、その多さに気づいていますか？－	25	5,500						
17	戦争と文学、そしてジャーナリズム － 20 世紀以降の近代戦争と人間の本質－	30	5,500						
18	日本の鉄道を知る －旅行にも役に立つ鉄道の知識を教えます－	30	5,500						
19	民俗学からみた栃木 No.11 －栃木の石をめぐる民俗－	50	5,500						
20	いのちをいただきます －食と農の視点で、食卓から健康までを考える－	15	5,500						
21	終章を生きる －住み慣れた地域で安心して暮らそう－	20	5,500						
22	音楽を通じた地域づくり －ドラムサークルファシリテーションの基礎－	25	5,500						
23	「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2020 －「聞きあい・聴きあい・訊きあい」の実行・実現－	15	16,500						
24	参加体験型学習で学びあうリーダー論 2020 －「お互いの尊びあい」を促すリーダーシップ－	20	5,500						
25	2020 年度地域コラムニスト養成講座	30	5,500						

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
			9 / 6 ~ 9 / 27 (日) 13 : 30 ~ 16 : 00 (全 4 回)								
				10 / 4 ~ 10 / 25 (日) 13 : 30 ~ 16 : 00 (全 4 回)							
			10 / 10 ~ 11 / 7 (土) 18 : 00 ~ 21 : 00 (10月10日、10月24日)								
										13 : 00 ~ 17 : 00 (11月7日) (全 3 回)	
						11 / 4 ~ 12 / 2 (水) 19 : 00 ~ 21 : 00 (全 5 回)					
				10 / 17 ~ 11 / 14 (土) 14 : 30 ~ 16 : 30 (全 5 回)							
						10 / 21 ~ 11 / 18 (水) 14 : 00 ~ 16 : 00 (全 5 回)					
						11 / 4 ~ 12 / 2 (水) 18 : 00 ~ 20 : 00 (全 5 回)					
6 / 2 ~ 6 / 30 (火) 13 : 30 ~ 15 : 30 (全 5 回)											
	8 / 1 ~ 12 / 5 (土) 13 : 30 ~ 15 : 30 (全 5 回)										
			9 / 16 ~ 10 / 28 (水) 13 : 30 ~ 15 : 30 (全 5 回)								
			9 / 26 ~ 12 / 19 (土) 13 : 30 ~ 16 : 00								
										10 : 30 ~ 13 : 00 (最終日のみ) (全 4 回)	
6 / 2 ~ 11 / 24 (火) 18 : 45 ~ 20 : 45 (全 15 回)											
						12 / 1 ~ 1 / 19 (火) 18 : 45 ~ 20 : 45 (全 5 回)					
			9 / 5 ~ 11 / 7 (土) 13 : 30 ~ 15 : 30 (全 5 回)								

受講手続き等について

1. 受講対象者

どなたでも受講できます。

2. 申込方法・申込期間

お申し込み～受講までの流れ

① 受講申し込み

令和2(2020)年4月1日(水)～4月30日(木)必着
【FAX・郵送】

受講申込書(巻末またはホームページからダウンロードできます。)に必要事項を記入しお申し込みください。

【メール】

受講申込書をホームページからダウンロードし、メールに添付してお申し込みください。

② 受講可否の通知

令和2(2020)年5月13日(水)より順次発送

③ 受講料の納入

令和2(2020)年5月14日(木)～5月25日(月)
「受講通知」に記載されている指定口座にお振り込みください。
※振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。
詳細は「受講通知」にてご確認ください。

④ 受講

受講確定後、講座開始日時の変更・中止などの特別な場合以外はご連絡いたしません。開講日に直接会場までお越しください。

3. 公開講座実施会場

令和2(2020)年度公開講座の詳細をご確認ください。

4. 公開講座修了証書の授与

所定の課程(全日程の3分の2以上の出席)を修了した方には修了証書を発行いたします。(有料講座のみ)

5. とちぎ県民カレッジ連携講座について

全ての講座が、とちぎ県民カレッジと連携しています。講座の修了者は、希望によりとちぎ県民カレッジから単位が認定されます。詳細は栃木県総合教育センター生涯学習部(TEL 028-665-7206)へお問い合わせください。

6. 注意事項及びお願い

- ① 受講料の払い戻しは、本学の都合により受講不可能となった場合を除いて原則行いません。
- ② 受講料の他にテキスト代、教材費等が必要な講座があります。各講座の注意事項をご確認ください。尚、記載事項以外に必要ななった場合はご連絡いたします。
- ③ 申し込み多数の場合は、抽選となりますのでご了承ください。
- ④ 定員に達しない場合は、締め切り後も随時募集します。
- ⑤ 受講申込者が最小開講人数に満たない場合は、当該講座を中止させていただきます。
- ⑥ 車で来校される方へ
 - ※入構許可証を発行します。受講申込書に車両情報をご記入ください。
 - ※入構許可証は各講座の初回に交付します。
 - ※全1回の講座は発行いたしません。
 - ※大学構内へ入構する際は、毎回、正門案内所で入構規制ゲート用パスカードを受領してください。パスカードがないと入構できません。
 - ※一般駐車場に駐めてください。
- ⑦ 令和2（2020）年3月1日現在で作成しておりますので、内容が変更される場合があります。最新の内容はホームページにてご確認ください。

〈申し込み・お問い合わせ先〉

宇都宮大学地域創生推進機構

宇大アカデミー生涯学習研究開発室

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

TEL 028-649-5144

FAX 028-649-5145

E-mail kouza@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/koukaikouza/index.html>

(月～金 10:00～12:00 / 13:00～17:00)



令和2(2020)年度公開講座の詳細

期 日
6月6日

曜 日
土曜日

時間帯
14:30～16:30

1. 仲間づくりと居場所づくりの技法 2020

－「生きがい集集」をつうじて「生涯学習」の意義を味わう－

担当講師

地域創生推進機構教授

佐々木英和

講座の内容

人生100年時代には、健康づくりだけでなく、友達づくりや生きがいづくりも極めて重要です。本講座では、参加体験型学習の手法を取り入れつつ、楽しく学びあっていくことを支援します。

定 員 100名

受講料 無 料

プログラム 全1回

月 日 テーマ

1. 6月6日(土) であい・ふれあい・まなびあい

会 場 5B11教室 (峰町5号館B棟1階)

期 日
9月16日

曜 日
水曜日

時間帯
13:00～15:00

とちぎ男女共同参画センター連携事業

2. 男女共同参画セミナー

担当講師

国立研究開発法人科学技術振興機構
副理事・ダイバーシティ推進室長

渡辺美代子

講座の内容

「ジェンダーがつなぐ科学技術イノベーション～ジェンダー平等からSDGs、そしてすべての人の幸福のために～」と題して、男女の性差を前提としたモノの見方や考え、製品・サービスの中身の質などの向上が、持続可能な社会と人びとの幸福に不可欠であることについて考えます。

定 員 150名（先着順）

受講料 無 料 一時保育有（200円／1人）

プログラム 全1回 9月16日(水) 13:00～15:00

会 場 大学会館 多目的ホール

そ の 他

- この講座は、宇都宮大学男女共同参画推進室との共同開催です。
- 詳細は、宇都宮大学公開講座ホームページ及びパーティホームページにてお知らせします。

申込方法：4月2日より受付を開始します。

パーティホームページ、電話、FAX、直接来館にてお申し込みください。先着順となります。

お問い合わせ：とちぎ男女共同参画センター 事業推進課

〒320-0071 栃木県宇都宮市野沢町4番地1（パーティ内）
TEL 028-665-8323 FAX 028-665-8325
火曜日～土曜日（国民の休日を除く）午前9時～午後5時



※ホームページからのお申し込みも出来ます。

<http://www.parti.jp/>

※携帯電話からのお申し込みもできます。

期 日
9月11日～10月9日

曜 日
金曜日

時間帯
14:30～16:30

3. 「健全」の研究

—わが身、わが国、わが世界の健全を求めて—

コーディネーター

地域創生推進機構教授

佐々木英和

担当講師

元宇都宮大学客員教授

神長 善次

講座の内容

我々が何気なく過しているこの世、この人生の「健全」の源泉を
尋ね、その視点から我々の生き方、日本や世界の有り様を再点検す
る。

定 員 30名

最小開講人数 14名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 9月11日(金) | 健全の原点 |
| 2. 9月18日(金) | 健全な身・心 |
| 3. 9月25日(金) | 健全な日常 |
| 4. 10月2日(金) | 健全な国・世界 |
| 5. 10月9日(金) | 健全視点から見た国際情勢と日本 |

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
10月15日～2月11日

曜 日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

4. ドイツ語とドイツ文化

ードイツを知ろうー

担当講師

名誉教授

橋本 孝

講座の内容

今年ドイツ統一30年の重要な年です。統一後ビロード革命が起き、チェコとスロバキアは独立しました。初級のドイツ語を学びながら、この歴史的な事情やドイツの文化と言葉を共に学びませんか。初級の方、大歓迎です。

定 員 20名

最小開講人数 12名

受講料 11,000円

プログラム 全10回

月 日 テーマ

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 10月15日(木) | 入門ドイツ語 |
| 2. 10月22日(木) | ドイツの歴史 |
| 3. 10月29日(木) | 戦後のドイツ |
| 4. 11月5日(木) | 簡単なドイツ語会話 |
| 5. 11月12日(木) | ドイツの憲法とグリム兄弟 |
| 6. 1月14日(木) | ドイツ語とドイツ伝説 |
| 7. 1月21日(木) | ヴァッセッカー大統領の演説 |
| 8. 1月28日(木) | グリム童話と現代 |
| 9. 2月4日(木) | ドイツ語の変化詞と無変化詞 |
| 10. 2月11日(木) | 日独文化交流を考える |

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
6月13日～7月11日

曜 日
土曜日

時間帯
14:30～16:30

5. 後悔しないための心理学の知恵

—人生で重要な意思決定に向けたアドバイス—

担当講師

元日本心理学会理事長
東京大学名誉教授
慶應義塾大学訪問教授
地域創生推進機構教授

繁榊 算男
佐々木英和

講座の内容

個人や組織において重要な意思決定を行う際に、どのようにすればよい決定ができるかを考察します。合理的な決定のために必要な概念、確率、因果、結果の効用や損失の評価などについて説明します。

定 員 30名

最小開講人数 19名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 6月13日(土)	確率と因果	繁榊
2. 6月20日(土)	最も良い決定とは	繁榊
3. 6月27日(土)	結果の効用の予想	繁榊
4. 7月4日(土)	重要な問題の解決	繁榊
5. 7月11日(土)	自己実現のための心理学	佐々木

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

そ の 他

- 意思決定をどうするかについて、数式や統計学の知識を必要としない説明をします。ただし、統計学や意思決定科学に関心のある受講者は、繁榊算男著『後悔しない意思決定』（岩波科学ライブラリー 129、岩波書店）が参考になります。

期 日
6月4日～10月8日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

6①. 書 道 初級コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は藝道であり、日本独自の藝術思想によるものです。よって、今日的アートとは本質的に異なるものです。本講座では、独りでも学べる方法をお伝えしています。これこそが藝道の目指す“道”であるといえるのです。

定 員 24名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 6月4日(木) 毛筆の特性と扱い方を見直してみる
2. 6月18日(木) カタカナで書き方と学び方を考える
3. 7月2日(木) 楷書体の基礎と正しい書き方を学ぶ
4. 7月16日(木) 正しいひらがなの形を見直してみる
5. 10月8日(木) 古典的な楷書から臨書の方法を学ぶ

会 場 多目的創作スタジオ（峰町6号館2階（東奥））

そ の 他

- 初心者、経験者を問いません。（本学の公開講座「書道」を初めて受講される方は、初級コースを受講してください。）
- いかなる経験者も初級コースから受講ください。（書道師範など各書道団体等による等級資格は一切通用しません。）
- 半紙用の大筆と下敷きは指定しており、初回到教室で販売します。（その他、半紙や墨液なども購入できます。）
- 会場は峰キャンパス6号館2階（東奥）多目的創作スタジオです。（教室は17時30分まで授業中です。授業終了後に入室ください。）
- 初級から上級コースの修了生に限り、初級コースの再履修を認めています。（抽選の場合、再履修の希望者を優先することはありません。）

期 日
10月22日～12月17日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

6②. 書道 中級コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は藝道であり、日本独自の藝術思想によるものです。よって、今日のアートとは本質的に異なるものです。本講座では、独りでも学べる方法をお伝えしています。これこそが藝道の目指す“道”であるといえるのです。

定 員 24名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全5回
月 日 テーマ

1. 10月22日(木) 楷書体の正しい書き方を学ぶ
2. 11月5日(木) 行書体の正しい書き方を学ぶ
3. 11月19日(木) 楷行の古典から臨書法を学ぶ
4. 12月3日(木) 古筆から仮名の臨書法を学ぶ
5. 12月17日(木) 草書とはどんな書体かを学ぶ

会 場 多目的創作スタジオ（峰町6号館2階（東奥））

そ の 他

- 本学の公開講座、「書道（初級コース）」を修了された方に限ります。（初級コースで取り組んだ内容をよく理解し、自学自習のできる方に限ります。）
- いかなる経験者も初級コースから受講ください。（書道師範など各書道団体等による等級資格は一切通用しません。）
- 第5回に草書体について学びます。上級コースへの準備として予定しています。
- 会場は峰キャンパス6号館2階(東奥)多目的創作スタジオです。（教室は17時30分まで授業中です。授業終了後に入室ください。）
- 中級コースを経て、臨書力に不安のある方に限り、初級コースより再履修を認めます。（初級レベルの指導は一切行いません。）

期 日
6月11日～10月15日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

6③. 書 道 上級コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は藝道であり、日本独自の藝術思想によるものです。よって、今日のアートとは本質的に異なるものです。本講座では、独りでも学べる方法をお伝えしています。これこそが藝道の目指す“道”であるといえるのです。

定 員 12名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 6月11日(木) 楷書体と行書体の臨書を復習する
2. 6月25日(木) 篆書体の古典臨書と表現法を学ぶ
3. 7月9日(木) 隸書体の古典臨書と表現法を学ぶ
4. 7月30日(木) 草書体の古典臨書と表現法を学ぶ
5. 10月15日(木) 半切サイズに展開する方法を学ぶ

会 場 多目的創作スタジオ（峰町6号館2階（東奥））

そ の 他

- 本学の公開講座、「書道（中級コース）」を修了された方に限ります。（中級コースで取り組んだ内容をよく理解し、自学自習のできる方に限ります。）
- いかなる経験者も初級コースから受講ください。（書道師範など各書道団体等による等級資格は一切通用しません。）
- 上級コースでは、テキストを指定しており、初回に教室で販売します。（テキスト代：2,000円。その他、半紙や墨液なども購入できます。）
- 第4回に半切による臨書を体験します。専門コースへの準備として予定します。（半切は2枚まで提供します。第5回に試作を1枚持参ください。）
- 会場は峰キャンパス6号館2階(東奥)多目的創作スタジオです。（教室は17時30分まで授業中です。授業終了後に入室ください。）
- 上級コースを経て、臨書力に不安のある方に限り、初級コースより再履修を認めます。（中級レベルまでの指導は一切行いません。）

期 日
10月29日～1月7日

曜 日
木曜日

時間帯
17:40～19:40

6④. 書 道 専門コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は藝道であり、日本独自の藝術思想によるものです。よって、今日のアートとは本質的に異なるものです。本講座では、独りでも学べる方法をお伝えしています。これこそが藝道の目指す“道”であるといえるのです。

定 員 12名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 10月29日(木) 課題作品の鑑賞から表現法を学ぶ
2. 11月12日(木) 個別課題による作品制作 その1
3. 11月26日(木) 個別課題による作品制作 その2
4. 12月10日(木) 個別課題による作品制作 その3
5. 1月7日(木) 個別課題作品の相互批評会

会 場 多目的創作スタジオ（峰町6号館2階（東奥））

そ の 他

- 本学の公開講座、「書道（上級コース）」を修了された方に限ります。（それぞれの制作テーマを設定して臨んでください。）
- 課題：半切以上、または相当程度の作品を初回に提出ください。（作品は臨書、創作を問いません。）
- 専門コースは、毎年何度でも受講（再履修）できます。（各自のテーマによる制作の時間としてお考えください。）
- 会場は峰キャンパス6号館2階(東奥)多目的創作スタジオです。（教室は17時30分まで授業中です。授業終了後に入室ください。第5回は陽東キャンパス1階和室を予定します。）
- 上級コースを経て、臨書力に不安のある方に限り、初級コースより再履修を認めます。（上級レベルまでの指導は一切行いません。）
- 専門コースは、それぞれが個別の課題を進める環境、いわば【コミュニティ】です。（毎年2月初旬に、陽東キャンパス11号館和室にて、有志による展覧会を開催します。）

期 日
6月10日～12月2日

曜 日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

7. マジック・パズルを通して数学を楽しむ

担当講師

名誉教授

大関 清太

講座の内容

色々な種類のマジックがありますが算数と数学を使ったものを探ってみます。応用として暗号やパズルを紹介します。ただし、この講座を受講してもマジックは上達できません。

定 員 15名

最小開講人数 6名

受講料 11,000円

プログラム 全10回

月 日 テーマ

1. 6月10日(水) 数当て
2. 6月24日(水) 図形の消滅
3. 7月8日(水) トランプのシャッフルその1
4. 7月22日(水) トランプのシャッフルその2
5. 8月5日(水) パタパタ
6. 10月14日(水) 積み木
7. 10月28日(水) お手玉
8. 11月11日(水) 確率
9. 11月25日(水) ハトメ返し
10. 12月2日(水) 引き算

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
6月16日～9月28日

曜 日
火曜日他

時間帯
14:00～16:00

8. 日本のコメ作り

— 知っておいて損はないコメ作りに関する知識 —

担当講師

農学部附属農場准教授

高橋 行継

講座の内容

農学部専門科目の公開講座版です。今回のシリーズでは日本のコメ作りについて、種まきから収穫までの技術について時には歴史を振り返りながら紹介します。もちろん専門的な知識がない方にも十分理解できるように努めます。コメ作りを取り巻く時々の社会情勢などもあわせて知っていただきたいと思います。

定 員 25名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全5回
月 日 テーマ

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 6月16日(火) | 日本のコメ作りの概要 |
| 2. 6月30日(火) | 種まき・育苗 |
| 3. 7月14日(火) | 田植え |
| 4. 8月18日(火) | 夏場の水田管理 |
| 5. 9月28日(月) | 収穫・乾燥、新米試食 |

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
7月1日～7月29日

曜 日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

9①. 声を鍛える（夏コース）

－声のしくみとトレーニング－

担当講師

名誉教授

石野 健二

講座の内容

電子機器等の発達の中で現代人の声の機能は弱体化し、声の伝える・届ける力の衰えが危惧されています。この講座では声のしくみを知り、それに基づいて実践的なトレーニングを行います。

定 員 30名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 7月1日(水) 声のしくみを知る
2. 7月8日(水) 喉頭のメカニズム
3. 7月15日(水) 呼吸のメカニズム
4. 7月22日(水) 声の実践Ⅰ
5. 7月29日(水) 声の実践Ⅱ

会 場 UUプラザ2階コミュニティフロア

その他

- 声の理解・強化においては、朗読・歌唱等を通して行うことが最も効率的です。ただし、厳密な文学的・音楽的基礎力を必要とはしていません。
- 夏コースと秋コースの2コースを開講していますが、どちらか一方のみ受講可能です。

期 日
9月30日～10月28日

曜 日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

9②. 声を鍛える (秋コース)

－声のしくみとトレーニング－

担当講師

名誉教授

石野 健二

講座の内容

電子機器等の発達の中で現代人の声の機能は弱体化し、声の伝える・届ける力の衰えが危惧されています。この講座では声のしくみを知り、それに基づいて実践的なトレーニングを行います。

定 員 30名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 9月30日(水) 声のしくみを知る
2. 10月7日(水) 喉頭のメカニズム
3. 10月14日(水) 呼吸のメカニズム
4. 10月21日(水) 声の実践Ⅰ
5. 10月28日(水) 声の実践Ⅱ

会 場

第1回目 5C21教室(峰町5号館C棟2階)
第2回目～第5回目 峰が丘講堂

そ の 他

- 声の理解・強化においては、朗読・歌唱等を通して行うことが最も効率的です。ただし、厳密な文学的・音楽的基礎力を必要とはしていません。
- 夏コースと秋コースの2コースを開講していますが、どちらか一方のみ受講可能です。

期 日
6月3日～11月11日

曜 日
水曜日

時間帯
12:40～14:10

10. コンピュータはSUDOKUパズルを解けるか？

－視覚化して理解する「学び直し数学」－

担当講師

名誉教授

佐藤 禎宏

講座の内容

長い間、Mathematicaを使った数学入門やデータ処理の授業を行ってきました。学生から「SUDOKUをMathematicaで解けるか」の質問を受けたことをきっかけにSUDOKUを解くプログラムを作りました。ネットワーク・クラウド上のWolfram Programming Labを使ってWolfram言語の初歩を演習形式で学んだ後、“SUDOKUを解くプログラム”を学びます。

定 員 10名

最小開講人数 6名

受講料 8,250円

プログラム 全10回

月 日

- | 月 日 | テーマ |
|---------------|--------------------------------------|
| 1. 6月3日(水) | ネットワーク環境とWolfram Programming Labの使い方 |
| 2. 6月10日(水) | Wolfram言語：プログラミングの基礎 |
| 3. 6月17日(水) | ノートブックとドキュメントセンターの使い方 |
| 4. 6月24日(水) | 数式処理、リスト |
| 5. 7月1日(水) | 関数定義とグラフィックス |
| 6. 10月14日(水) | Wolfram言語でSUDOKUを表現しグラフィックスで描く |
| 7. 10月21日(水) | SUDOKUのルールを現する |
| 8. 10月28日(水) | SUDOKUの候補図を描く |
| 9. 11月4日(水) | SUDOKUを解くプログラムを作る |
| 10. 11月11日(水) | まとめ |

会 場 総合メディア基盤センター 峰キャンパス(峰町4号館C棟1階)

そ の 他

- PC端末を使用して演習形式で講義を進めます。
- ソフトはWolfram Cloud上のProgramming Labを使用します。
<https://www.wolfram.com/programming-lab/?source=footer>
- SUDOKUに関しては佐藤禎宏のブログMMAys's blogを参考にしてください。
<http://mmays.hatenablog.com/entry/2013/11/25/122237>

期 日
6月7日～7月5日

曜 日
日曜日

時間帯
14:00～16:00

11. ライブコーディングミュージック&CGをやってみる!

— Extempore/scheme で Live coding をやる、音楽も映像もボカロも! —

担当講師

名誉教授
コンピュータミュージック演奏家
コンピュータ・ギーク

東海林健二
山口 Minoru
千葉 裕也 (@cyblue9)

講座の内容

Extempore/scheme code 書いて live coding、実行を止めずにコード書き換え展開する世界、音楽と映像の饗宴!

定 員 15名

最小開講人数 10名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日	テマ	担当講師
1. 6月7日(日)	ソフトウェアの利用法、曲演奏、映像紹介	東海林
2. 6月14日(日)	リズム、スケール、各種楽器、サンプラー音源	山口
3. 6月21日(日)	グラフィック・音フレーズ作成	千葉
4. 6月28日(日)	曲・グラフィック作成	山口、千葉
5. 7月5日(日)	発表会：自作曲の発表、講評	東海林、山口、千葉

会 場 情報工学科ネットワーク実験室 I
(陽東キャンパス9号館2階 9-204)

そ の 他

- 国籍、年齢、性別、職業等には一切制限有りません。
- プログラムを書ける事(プログラム言語は問わず)。
- lisp / scheme が多少とも分かるとなると、講座開始までに多少は慣れておく事が望まれます。
- 音楽が好き。自分で演奏してみたい。また、楽器を弾いたことのある人はなお良いです。
- 2019年度「コンピュータミュージック入門」に参加した人はもちろん無条件でOK。
- 毎回、イヤホンをご持参ください。
- ソフトウェア Extempore の概要は下記 YouTube を参照してください。
<https://youtu.be/GSGKey8vHqg> [ComputeMusic(now): Andrew Sorensen at TEDxQUT]
<https://youtu.be/yYIFsUV-8c> [Andrew Sorensen Keynote: "The Concert Programmer" - OSCON 2014]
<https://vimeo.com/37293927> [Extempore Graphics Demos]
<https://vimeo.com/78788032> [Asmodeus Redux]
- 基本的には教室の Win PC を使用しますが、受講者の PC/Mac などに extempore & editor をインストールしたものを持参することも可能。その場合は、<https://github.com/digego/extempore/releases> にある binary release 0.7.0 を使用してください。
- 全体的な情報は <https://extemporelang.github.io/> です。

期 日
9月6日～9月27日

曜 日
日曜日

時間帯
13:30～16:00

12. 写真から描き起こすコンピュータ絵画教室

担当講師

名誉教授

東海林健二

講座の内容

研究室で開発したソフトを利用し、写真を下絵にしてマウスやペンで線を描きます。ソフトは写真から色を抽出して彩色し、グラデーションが美しい絵に仕上げます。思い出の詰まった写真を用意して絵を描きましょう。

定 員 10名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全4回

月 日 テーマ

1. 9月6日(日) ソフトウェアの利用法
2. 9月13日(日) 写真に忠実に線画を描く／自由に線画を描く
3. 9月20日(日) 個別課題による作品制作／写真の色調整
4. 9月27日(日) 発表会と作品の印刷

会 場 情報工学科ネットワーク実験室 I
(陽東キャンパス9号館2階 9-204)

そ の 他

- Windows PC を利用して演習形式で授業を行います。Windows の基本操作ができる方を対象としています。
- 絵画の知識や経験は特には必要としません。
- 可能ならば、ご自身やご家族が撮影した写真を複数枚 (SD カード、USB メモリ、プリントで) 持参してください。
- クリスマスカードや年賀状にいかがですか。

期 日
10月4日～10月25日

曜 日
日曜日

時間帯
13:30～16:00

13. コンピュータビジョンプログラミング入門

担当講師

名誉教授

東海林健二

講座の内容

画像処理とコンピュータビジョン (CV) の標準的なソフトウェアを用いて簡単なプログラムを作成・実行することで、急速に進歩する CV と機械学習の可能性を体感します。

定 員 10名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全4回
月 日 テーマ

1. 10月4日(日) OpenCV の利用法／映像入力
2. 10月11日(日) 色の扱い・ガンマ補正
3. 10月18日(日) 射影変換・特徴点
4. 10月25日(日) 手書き数字の機械学習

会 場

情報工学科ネットワーク実験室 I
(陽東キャンパス9号館2階 9-204)

そ の 他

- 開催場所に設置してある Windows PC を利用して演習形式で授業を行います。
- Windows の基本操作ができ、何らかのプログラミングの経験がある方を対象としています。
- 第1回～第3回は Microsoft Visual Studio 2015 の環境でプログラミング言語 C++ を使います。
- 第4回は Jupyter Notebook からプログラミング言語 Python3.7 を使います。
- C++ や Python のプログラミング入門を目的とした講座ではありません。
- 各回のテーマは予定であり、受講者のスキルに合わせて柔軟に対応します。

期 日
10月10日～11月7日

曜 日
土曜日

時間帯
18:00～21:00 他

14. チューバの基礎を身につけよう

－演奏方法に悩んでいるあなたへ－

担当講師

教育学部准教授

高島 章悟

講座の内容

みなさんの演奏状態を確認し、個々の力量に応じてメカニズムを理解しながらよりいい音色、吹き易さをわかりやすく講習します。クラブ活動、社会活動、地域活動等でなかなか習う機会がないという方、必見です！

定 員 12名

最小開講人数 10名

受講料 5,500円

プログラム 全3回

月 日 テーマ

1. 10月10日(土)／18:00～21:00 個々の演奏現状を確認する
2. 10月24日(土)／18:00～21:00
呼吸・アンブシュアの改善1、楽譜の捉え方
3. 11月7日(土)／13:00～17:00
呼吸・アンブシュアの改善2、楽譜の捉え方、総括

会 場 大学会館 多目的ホール

そ の 他

- 楽器（チューバ）と譜面台を持参してください。
- 報酬を受けて演奏活動されている職業の方の受講はご遠慮ください。

期 日
11月4日～12月2日

曜 日
水曜日

時間帯
19:00～21:00

15. 指揮を学んでみませんか

—ご自分で悩んでいるあなたへ—

担当講師

教育学部准教授

高島 章悟

講座の内容

みなさんの指揮の現状を確認し、個々の力量に応じてメカニズムを理解しながらより見やすく、わかりやすくなるよう探求し、楽曲を実際に演奏することで、より実用的に近づけていきます。

定 員 18名

最小開講人数 10名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 11月4日(水) 個々の指揮の現状を理解し、より分かりやすくなるメカニズムを知る
2. 11月11日(水) メカニズムを理解し楽曲で実践する1
3. 11月18日(水) メカニズムを理解し楽曲で実践する2
4. 11月25日(水) メカニズムを理解し楽曲で実践する3
5. 12月2日(水) メカニズムを理解し楽曲で実践する4、総評

会 場 大学会館 多目的ホール

そ の 他

- ある程度楽譜を読めることができる方ならどなたでも受講できます（但し、報酬を受けて演奏活動されている職業の方はご遠慮ください）。
- 10時間（MAX）で受講できる人を優先します。
- 指揮棒を持参してください。

期 日
10月17日～11月14日

曜 日
土曜日

時間帯
14:30～16:30

16. 安全・安心について考えよう 2020

－ “身近な危険”、その多さに気づいていますか？－

コーディネーター

地域創生推進機構教授

佐々木英和

担当講師

元宇都宮大学教授
明治大学名誉教授
元運輸安全委員会委員
横浜国立大学大学院客員教授

松岡 猛
向殿 政男
垣本由紀子
野口 和彦

講座の内容

私たちの身の回りには、「思いもよらない危険」や「見過ごされている危機」が多く存在しています。でも、「安全」と「安心」とを混同したままでは、そうした危険や危機に鈍感なままです。本講座の目的は、「リスク」についての理解を深め、「危険」や「安全」の程度を理解・判断し、問題を解決したり避けたりする能力を高めることです。なお、教室内での討論の時間も設けますので、ぜひ具体的な課題を持ち寄ってください。

定 員 25名

最小開講人数 19名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

担当講師

- | | | |
|--------------|--------------------|----|
| 1. 10月17日(土) | 「無理な安全」と「勝手な安心」とは？ | 松岡 |
| 2. 10月24日(土) | 誰が「安全」を決めるのか？ | 向殿 |
| 3. 10月31日(土) | 身の回りの製品に潜む「危険」 | 松岡 |
| 4. 11月7日(土) | なぜ人間は“必ず”間違えるのか？ | 垣本 |
| 5. 11月14日(土) | リスクマネジメントが切り拓く未来社会 | 野口 |

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

その他

- 日本青年館編『社会教育』2019年12月号（本講座講師陣が特集「安全安心社会づくりに向けて」を担当）を、教材に用います。教材費として、講義開始時に800円（税込み）を徴収します。

期 日
10月21日～11月18日

曜 日
水曜日

時間帯
14:00～16:00

17. 戦争と文学、そしてジャーナリズム

－ 20世紀以降の近代戦争と人間の本質－

担当講師

名誉教授
舞台芸術評論家
元毎日新聞外信部長
元マッキンゼーエリクソン勤務

市川裕見子
寺倉正太郎
中井 良則
根津 芳樹

講座の内容

今回は文学、そしてジャーナリズムが戦争をどのように描写し、表象して人々に伝えてきたかを見てきました。今回はその検証を、さらに深めていきます。毎回完結していますので、初回の方も是非おいでください。

定 員 30名

最小開講人数 17名

受 講 料 5,500円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

担当講師

- | | | |
|--------------|-------------------|----|
| 1. 10月21日(水) | 与謝野晶子と日露戦争・その後 | 市川 |
| 2. 10月28日(水) | ハプスブルク帝国の崩壊と文学 | 寺倉 |
| 3. 11月4日(水) | 木下順二・井上ひさしと東京裁判 | 根津 |
| 4. 11月11日(水) | ジョージ・オーウェルとスペイン戦争 | 中井 |
| 5. 11月18日(水) | 太宰治と第二次世界大戦 | 市川 |

会 場 5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
11月4日～12月2日

曜 日
水曜日

時間帯
18:00～20:00

18. 日本の鉄道を知る

－旅行にも役に立つ鉄道の知識を教えます－

担当講師

農学部附属農場准教授
農学部演習林事務室長

高橋 行継
矢吹 和巳

講座の内容

本講座は鉄道マニア（最近ではレールファン）が興味を持つような極めてマニアックな世界ではなく、これまでは移動のために鉄道を利用しているだけの方にも、興味深くかつ役に立つ話題を提供します。この講座を通じて鉄道に関する見方を変えていただくチャンスになればありがたいです。旅行やビジネスにも役立つ知識満載です。

定 員 30名

最小開講人数 15名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

担当講師

- | | | |
|--------------|------------------|-------|
| 1. 11月4日(水) | 鉄道とは？鉄道の今昔 | 高橋・矢吹 |
| 2. 11月11日(水) | 鉄道会社（JRと民鉄） | 高橋・矢吹 |
| 3. 11月18日(水) | 鉄道施設（車両、駅、線路） | 高橋・矢吹 |
| 4. 11月25日(水) | 鉄道ダイヤ | 高橋・矢吹 |
| 5. 12月2日(水) | 料金、きっぷ、鉄道の上手な活用法 | 高橋・矢吹 |

会 場 5C21教室（峰町5号館C棟2階）

期 日
6月2日～6月30日

曜 日
火曜日

時間帯
13:30～15:30

19. 民俗学からみた栃木 No.11

－栃木の石をめぐる民俗－

コーディネーター

地域創生推進機構教授

佐々木英和

担当講師

栃木くらし文化研究所代表
栃木県立博物館名誉学芸員

柏村 祐司

講座の内容

栃木県は大谷石を始め各種の石を産し、日本では珍しい石の文化が発展してきた所である。本講座では栃木県内に見られる石にまつわる信仰、歴史的な石、建築・土木の中の石等石の文化を民俗学的な視点から探る。

定 員 50名

最小開講人数 6名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 6月2日(火) 石になぜ霊力が宿るのか。殺生石等盤座^{いわくら}信仰
2. 6月9日(火) 石に支えられた東照宮・石垣や大鳥居等。その採掘場、輸送は？
3. 6月16日(火) 古墳等に用いられた大谷石。巨石をどうやって運んだのか？
4. 6月23日(火) 大谷石に魅了されたライト、柳宗悦。その真相は？
5. 6月30日(火) 大谷石以外にもあった栃木の名石、岩船石・芦野石等

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

期 日
8月1日～12月5日

曜 日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

20. いのちをいただきます

—食と農の視点で、食卓から健康までを考える—

コーディネーター

地域創生推進機構教授

佐々木英和

担当講師

宇都宮大学認定食農ファシリテーター
宇都宮大学認定食農ファシリテーター

和久井 隆
鈴木 知子

講座の内容

今や日本の医療費は、国家予算の約半分に匹敵する深刻な状況です。人が健康に暮らして行くために大切な、農業・食事・心に関する様々な課題への対処法を学び、各自に合った実践をすることで健康回復を図ります。

定 員 15名

最小開講人数 9名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日

1. 8月1日(土)
2. 9月5日(土)
3. 10月3日(土)
4. 11月7日(土)
5. 12月5日(土)

テーマ

- 畑の放射能汚染と対策
大きいことは良いことか？
自己免疫力を守る
あなたの体質は？
自然の力・信じる力

担当講師

- 和久井
和久井
鈴木
和久井
和久井

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

そ の 他

- 材料費として、別途2,000円が必要です。初回に集めます。
- 自然栽培で育った旬の野菜を味付け無しで食べていただき、毎回、自然栽培の野菜のお土産付きです。
- プログラムとは別に、希望者は自然栽培の畑(鹿沼市)をご案内します。

期 日
9月16日～10月28日

曜 日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

21. 終章を生きる

－住み慣れた地域で安心して暮らそう－

担当講師

宇都宮大学コーディネーター
特定非営利活動法人風の詩 理事長
とちぎYMCA福祉会 常務理事
さつきホームクリニック 院長

廣瀬 隆人
永島 徹
塩澤 達俊
月永 洋介

講座の内容

人生100年という超高齢化社会を迎え、医療や介護をはじめとする私たちの暮らしは急激な変化を余儀なくされている。住み慣れた地域の中で、自分らしく楽しく生き生きと暮らすにはどうしたら良いのか。

定 員 20名

最小開講人数 9名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

担当講師

- | | | |
|--------------|--------------------|----|
| 1. 9月16日(水) | 終章とはなにか | 廣瀬 |
| 2. 9月23日(水) | 終章を巡る諸問題 | 永島 |
| 3. 9月30日(水) | 地域包括ケアシステム | 塩澤 |
| 4. 10月14日(水) | “現場に学ぶ” (施設見学) | 廣瀬 |
| 5. 10月28日(水) | 終章のこれから (在宅医療とACP) | 月永 |

会 場

第1回目～第3回目

5C22教室 (峰町5号館C棟2階)

第5回目 UUプラザ2階コミュニティフロア

そ の 他

- 施設見学に際しての詳細は、初回授業の時にお知らせいたします。

期 日
9月26日～12月19日

曜 日
土曜日

時間帯
13:30～16:00 他

22. 音楽を通じた地域づくり

ードラムサークルファシリテーションの基礎ー

担当講師

教育学部教授
DC-LAB 主宰

長谷川万由美
三原 典子

講座の内容

音楽を通じてまちづくりを進めてみませんか。非言語の共感と共鳴をリズムを通じて体感できるドラムサークルファシリテーションの基礎を実践的に学びます。

定 員 25名

最小開講人数 8名

受講料 5,500円

プログラム 全4回

月 日

テーマ

担当講師

1. 9月26日(土) / 13:30～16:00 ドラムサークルとは
長谷川・三原
2. 10月24日(土) / 13:30～16:00
ファシリテーションの基本を学ぶ 長谷川・三原
3. 11月28日(土) / 13:30～16:00 ドラムサークルの実際
長谷川・三原
4. 12月19日(土) / 10:30～13:00
コミュニティドラムサークルを開こう 長谷川・三原

会 場

第1回目～第3回目 大学会館 多目的ホール
第4回目 峰ヶ丘講堂

そ の 他

- 打楽器の演奏経験が全くなくても大丈夫です。テキスト代として1,000円(予定)がかかります。最終日は公開講座を10:30から13:00に実施し、午後を実施するドラムサークルにファシリテーターとして参加する機会があります。(午後の参加は任意)

期 日
6月2日～11月24日

曜 日
火曜日

時間帯
18:45～20:45

23. 「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2020

－「聞きあい・聴きあい・訊きあい」の実行・実現－

担当講師

地域創生推進機構教授

佐々木英和

講座の内容

誰もが簡単にやれているようでいて、実際には意外と成立していないのが「話しあい」です。本講座は、話しあいを「話しこみ」・「黙りあい」・「言いあい」の域にとどめず、生産性の高い営みへと高めていくための基本姿勢や技法などを身につけることが目標です。

定 員 15名

最小開講人数 9名

受講料 16,500円

プログラム 全15回

月 日

テーマ

1. 6月2日(火) 「ファシリテーション」とは何か?
2. 6月9日(火) 「聞く・聴く・訊く」の深みと広がり
3. 6月16日(火) 「伝える」と「伝わる」との段差
4. 6月23日(火) プレゼンテーション洗練とPR戦略
5. 6月30日(火) ソリューション志向の話しあいの基礎
6. 7月7日(火) ソリューション志向の話しあいの実践
7. 7月14日(火) クリエーション志向の話しあいの基礎
8. 7月21日(火) クリエーション志向の話しあいの実践
9. 10月6日(火) 「話しあいファシリテーション」の実践
10. 10月13日(火) 「自己表出と仲間づくり」志向の話しあい
11. 10月20日(火) 文章作成技術を応用した会議運営
12. 10月27日(火) 「Why? What? How?」の会議運営
13. 11月10日(火) 「問題発見・問題解決」と「課題設定・課題達成」
14. 11月17日(火) 「メタ会議」の意義と効用
15. 11月24日(火) 「話しあいファシリテーター」の役割

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

その他

- プログラムを体系的に編成している都合上、第1回目(6月2日)からの受講を強くお勧めしています。また、最後まで続けて出席できる人の受講を優先しています。

期 日
12月1日～1月19日

曜 日
火曜日

時間帯
18:45～20:45

24. 参加体験型学習で学びあうリーダー論 2020

－「お互いの尊びあい」を促すリーダーシップ－

担当講師

地域創生推進機構教授	佐々木英和
栃木県男女共同参画推進員	菅谷 浩
(株)クローバー 教育事業部部長	柏木 聖子
NPO法人かぬま市民活動サポーターズ	渡邊 博和

講座の内容

本講座は、「こうあるべきだ」と上から諭すやり方を脱し、受講者が話しあいやワークショップに参画しながら、身近な素材を用いて参加体験的に学ぶというやり方を基軸として、リーダーやリーダーシップについて学びあいながら構想する実験的講座です。

定 員 20名

最小開講人数 13名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 12月1日(火)	リーダーとリーダーシップ	佐々木
2. 12月8日(火)	魅力的なリーダーとは?	菅谷・柏木
3. 12月15日(火)	効果的なリーダーシップとは?	菅谷・渡邊
4. 1月12日(火)	リーダーシップ醸成の方法論	渡邊・柏木
5. 1月19日(火)	「メタリーダー」の意義と可能性	佐々木

会 場 5C21教室 (峰町5号館C棟2階)

その他

○ プログラムを体系的に編成している都合上、第1回目(12月1日)からの受講を強くお勧めしています。また、5回とも続けて出席できる人の受講を優先しています。

期 日
9月5日～11月7日

曜 日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

25. 2020年度地域コラムニスト養成講座

－絆と共感を生む情報発信とは？－

担当講師

地域創生推進機構教授	佐々木英和
毎日新聞社ビジネス開発本部	山本 建
月刊タウン誌「Ton Ton」編集長	小森 裕子
毎日新聞出版社大相撲中継編集部	高原 克行
毎日新聞東京本社編集編成局編集委員	内山 勢

講座の内容

新聞を開くとき、多くの人が正確な情報を得るだけでなく、社会の絆や共感を得ることを目的としています。地域のつながりをはぐくみ、活性化することが求められている今、絆と共感を生む情報発信について考え、自ら発信する体験にチャレンジしてみませんか。講義の中で執筆したコラムは、毎日新聞栃木県版に掲載させていただきます。

定 員 30名

最小開講人数 16名

受講料 5,500円

プログラム 全5回

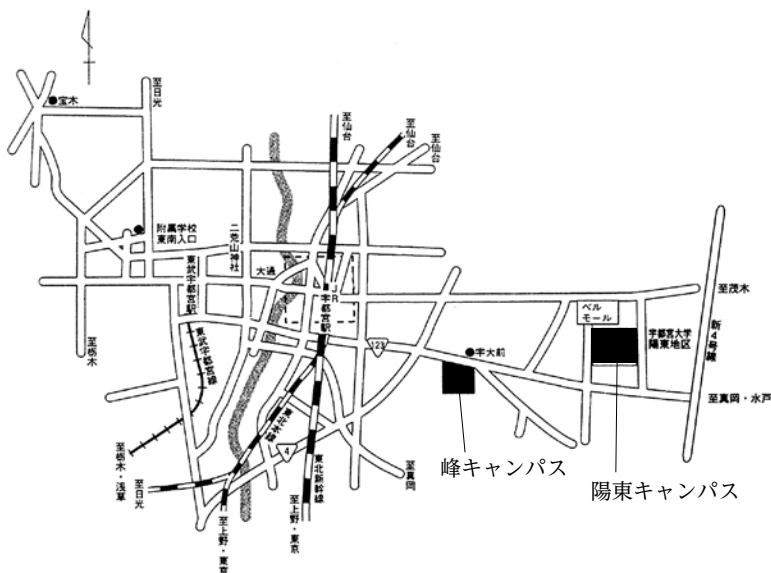
月 日	テーマ	担当講師
1. 9月5日(土)	話すことと書くこと	山本・佐々木
2. 9月12日(土)	コラムの主題を選ぶ	小森
3. 10月3日(土)	情報の整理、文章の構成	高原
4. 10月10日(土)	伝わる写真撮影術	内山
5. 11月7日(土)	作品発表・評価	高原

会 場 第1回目～第3回目
5C22教室(峰町5号館C棟2階)
第4回目 5C21教室(峰町5号館C棟2階)
第5回目 4B54教室(峰町4号館B棟5階)

その他

- 講義終了後も、受講者の皆さんの作品を掲載する際連絡を取らせていただく場合があります。

Ⅵ 宇都宮大学までの交通



●峰キャンパス

JR宇都宮駅西口から

- 3番乗り場 (JRバス関東) : 清原台団地行、芳賀町役場行、祖母井行、茂木行、ベルモール行など
乗車時間約15分「宇都大前」下車徒歩1分
- 14番乗り場 (関東自動車) : 真岡行、益子行、海星学院行、卸団地循環、ベルモール行、など
乗車時間約15分「宇都宮大学前」下車徒歩1分

JR宇都宮駅東口から

- 3番乗り場 (関東自動車) : 宇大循環線 (左回り)、柳田車庫行、ベルモール行など
乗車時間約10分「宇都宮大学前」下車徒歩1分
- タクシー : 約5分

東武宇都宮駅から

- 1番乗り場 (関東自動車) : すべての便 乗車時間約25分「宇都宮大学前」下車徒歩1分
 - 4番乗り場 (関東自動車) : すべての便 乗車時間約25分「宇都宮大学前」下車徒歩1分
- タクシー : 約15分

●陽東キャンパス

JR宇都宮駅西口から

- 3番乗り場 (JRバス関東) : 清原台団地行、芳賀町役場行、祖母井行、茂木行、ベルモール行など
乗車時間約20分「工学部前」下車徒歩6分
- 14番乗り場 (関東自動車) : 真岡行、益子行、海星学院行、ベルモール行
乗車時間約20分「工学部前」下車徒歩6分

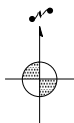
JR宇都宮駅東口から

- 3番乗り場 (関東自動車) : 宇都宮東循環 (左回り) 乗車時間約15分「宇大工学部正門」下車徒歩1分
- タクシー : 約10分

東武宇都宮駅から

- 1番乗り場 (関東自動車) : すべての便 乗車時間約30分「工学部前」下車徒歩6分
 - 4番乗り場 (関東自動車) : すべての便 乗車時間約30分「工学部前」下車徒歩6分
- タクシー : 約20分

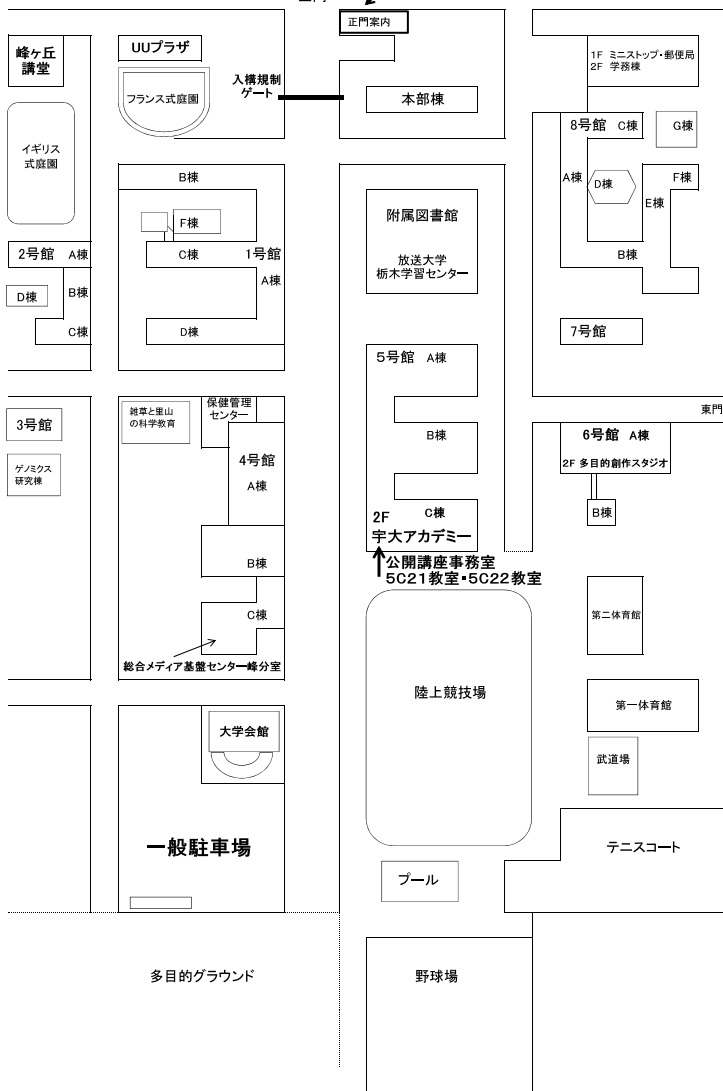
Ⅶ 宇都宮大学構内建物配置図 (峰キャンパス)



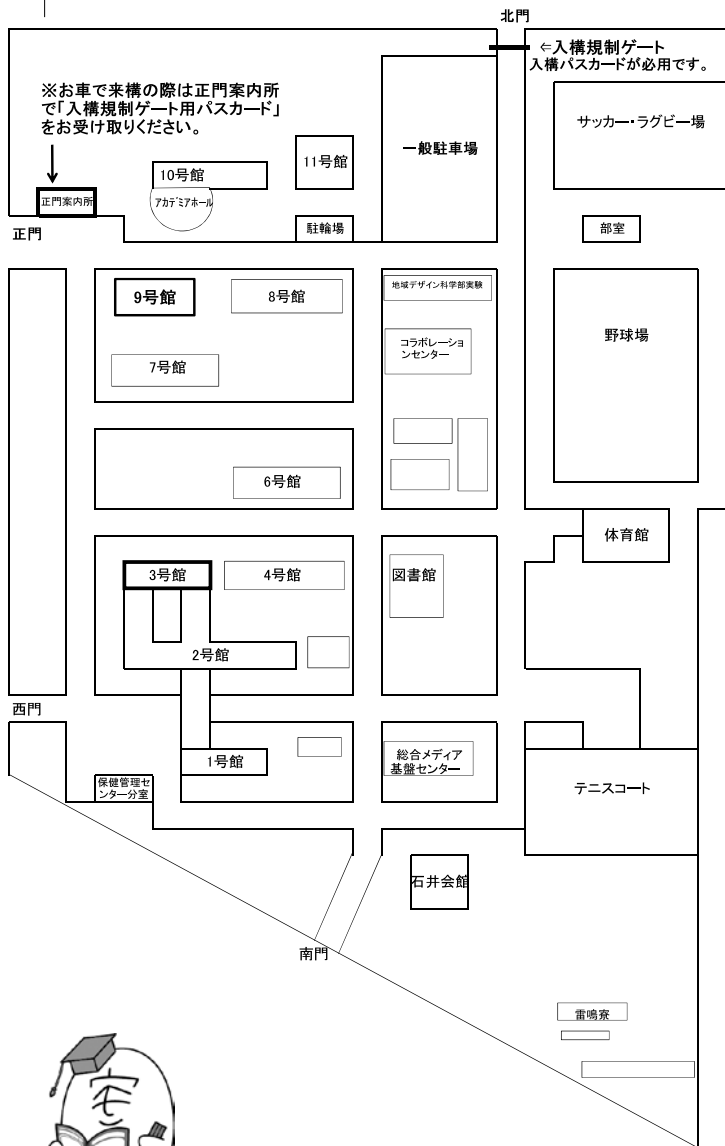
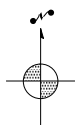
国道123

正門

※お車で来構の際は正門案内所で「入構規制ゲート用パスカード」をお受け取りください。



VII 宇都宮大学構内建物配置図 (陽東キャンパス)



MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

